



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL http://www.intrance.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 麻生 正紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門管掌 (氏名) 濱谷 雄二 TEL 03-6803-8100
 兼経理・総務部部长
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	956	—	232	—	219	—	219	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 219百万円(—%) 23年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1,523 08	1,308 70
23年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,828	2,039	33.5
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 947百万円 23年3月期 一百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年3月期	—	0 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成24年3月期の期末配当予想については、現時点において未定であるため記載しておりません。

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	—	281	—	219	—	219	—	1,520 80

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(有限会社ムーアゲイト・インベストメント)、除外 1社

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)5ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	144,305株	23年3月期	144,305株
24年3月期2Q	302株	23年3月期	302株
24年3月期2Q	144,003株	23年3月期2Q	126,709株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成23年11月10日にアナリスト向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する第2四半期決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け一時自粛ムードから弱含みとなったものの、緩やかな回復傾向が続いております。しかしながら、急激な円高や欧米を中心とした海外経済の減速懸念が高まり、今後の景気動向は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界では、東日本大震災の影響で売買取引は一時停滞し、市場は大幅に縮小しましたが、住宅関連不動産については金利優遇策などの駆け込み需要があり、震災後も底堅い需要に支えられております。また、オフィスビルについても賃料相場の弱含みが続くなど、引き続き厳しい状況下にあるものの、立地や耐震性に優れるビルへの移転が目立ち、空室率の改善傾向が続いております。

このような状況下、当社グループは、プリンシパルインベストメント事業において財務内容の健全性を維持し、販売用不動産の売却活動及びバリューアップ案件の発掘に注力してまいりました。また、ソリューション事業においてフィービジネスの領域拡大・確立を図ってまいりました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は956,578千円、営業利益は232,991千円、経常利益は219,879千円、四半期純利益は219,328千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業におきましては、販売用不動産6物件(区分所有マンション4戸含む)を売却したことにより売上高は671,393千円、セグメント利益は214,639千円となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、不動産開発プロジェクトに係るコンサルティング業務や仲介手数料等のフィービジネスの確立、及び管理受託物件における大規模工事の受注等により売上高は285,185千円、セグメント利益は245,691千円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきまして、流動資産は現金及び預金の294,026千円と販売用不動産の2,378,716千円等により2,801,917千円となりました。固定資産は26,382千円となりました。この結果、資産合計は2,828,299千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきまして、流動負債は販売用不動産の取得に係る借入金250,000千円と販売用不動産に係る前受金325,269千円等により788,812千円となりました。この結果、負債合計は788,812千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきまして、株主資本は947,281千円、新株予約権は42,204千円、少数株主持分は1,050,000千円となりました。この結果、純資産合計は2,039,486千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、294,026千円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は740千円となりました。これは主として販売用不動産の969,270千円の増加があったものの、売上債権の478,359千円の減少と前受金の324,222千円の増加があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,077,756千円となりました。これは主として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,077,791千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,192,818千円となりました。これは主として長期借入金100,000千円の返済があったものの、短期借入れによる250,000千円の収入と少数株主からの払込みによる1,050,000千円の収入があったことによるものです。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末からの増減の状況については記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年8月10日に発表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

通期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の業績予想は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,380	280	200	200	1,388円86銭
今回発表予想 (B)	1,800	281	219	219	1,520円80銭
増減額 (B)－(A)	420	1	19	19	—
増減率 (%)	30.4	0.4	9.5	9.5	—
前期実績	—	—	—	—	—

(注) 1 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期実績は記載しておりません。

2 上記の予想数値は、現在入手している情報に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、有限会社ムーアゲイト・インベストメントの発行済株式の全部を取得し、同社を子会社化いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	294,026
売掛金	3,498
営業投資有価証券	96,000
販売用不動産	2,378,716
その他	29,676
流動資産合計	2,801,917
固定資産	
有形固定資産	7,390
無形固定資産	2,624
投資その他の資産	16,368
固定資産合計	26,382
資産合計	2,828,299
負債の部	
流動負債	
短期借入金	250,000
前受金	325,269
賞与引当金	4,425
その他	209,118
流動負債合計	788,812
負債合計	788,812
純資産の部	
株主資本	
資本金	930,497
資本剰余金	700,497
利益剰余金	△681,236
自己株式	△2,476
株主資本合計	947,281
新株予約権	42,204
少数株主持分	1,050,000
純資産合計	2,039,486
負債純資産合計	2,828,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	956,578
売上原価	496,248
売上総利益	460,330
販売費及び一般管理費	227,338
営業利益	232,991
営業外収益	
受取利息	27
未払配当金除斥益	550
営業外収益合計	577
営業外費用	
支払利息	6,058
資金調達費用	7,179
その他	451
営業外費用合計	13,689
経常利益	219,879
税金等調整前四半期純利益	219,879
法人税、住民税及び事業税	550
法人税等合計	550
少数株主損益調整前四半期純利益	219,328
四半期純利益	219,328

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	219,328
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
四半期包括利益	219,328
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	219,328
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	219,879
減価償却費	1,651
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△309
受取利息	△27
支払利息	6,058
売上債権の増減額 (△は増加)	478,359
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△96,000
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△969,270
前受金の増減額 (△は減少)	324,222
その他の資産の増減額 (△は増加)	3,761
その他の負債の増減額 (△は減少)	31,748
その他	17,887
小計	17,961
利息の受取額	27
利息の支払額	△5,903
法人税等の支払額	△11,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	740
投資活動によるキャッシュ・フロー	
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,077,791
その他	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,077,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	250,000
長期借入金の返済による支出	△100,000
少数株主からの払込みによる収入	1,050,000
その他	△7,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,192,818
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	115,802
現金及び現金同等物の期首残高	178,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	294,026

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	プリンシパル インベストメント事業	ソリューション事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	671,393	285,185	956,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	671,393	285,185	956,578
セグメント利益	214,639	245,691	460,330

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。